

平成 29 年度

## 第 2 回八雲町文化財保護審議会

開催日時 平成 30 年 1 月 22 日(月)  
午前 10 時 00 分  
開催場所 八雲町公民館第 1 会議室

1. 開 会

2. 挨拶 八雲町教育委員会 教育長 田 中 了 治

3. 議 題

説 明 八雲町文化財保護審議会委員の制度及び任務について（1～5 頁）

議案第 1 号 八雲町文化財保護審議会委員の会長及び副会長の選出について（6 頁）

議案第 2 号 平成 30 年度文化財関係事業の計画及び予算について（7 頁）

議案第 3 号 町指定文化財候補について（8～9 頁）

報告第 1 号 平成 29 年度文化財関係事業(下半期)の実施報告及び決算について（10 頁）

報告第 2 号 平成 29 年度埋蔵文化財保護業務について（11 頁）

報告第 3 号 木彫り熊に関する展示会及び講演等について（13～17 頁）

報告第 4 号 郷土資料の寄贈状況について（18 頁）

そ の 他



## 説 明

### 八雲町文化財保護審議会の制度及び任務について

#### 1. 文化財保護審議会について

文化財保護審議会は、文化財保護法第 190 条及び八雲町文化財保護条例第 13 条に基づき設置されている。

#### 2. 文化財保護審議会委員について

委員は、学識経験を有する者から教育委員会が任命することとなっており、現在 7 人の委員が任命されている。(委員は、10 人以内で組織する。)

#### 3. 文化財保護審議会委員の職務について

審議会は、教育委員会の諮問に応じ、文化財の保存及び活用に関する重要事項について審議する。また、教育委員会に意見を具申し、そのための必要な調査を行うこととなっている。

#### 4. 活動内容について

##### (1) 平成 28 年度の主な活動内容

第 1 回の審議会において、平成 28 年度文化財関係事業の計画及び予算、町指定文化財候補の理由書について審議、平成 27 年度文化財関係事業（下半期）の実施報告及び決算、郷土資料の寄贈状況、サテライト展示について報告。

第 2 回の審議会において、次期町指定文化財候補について協議、平成 28 年度文化財関係事業（上半期）の実施報告及び決算、平成 28 年度文化財関係事業（下半期）の実施予定及び予算、平成 28 年度埋蔵文化財保護業務、平成 28 年度郷土資料の寄贈状況について報告。

(2) 平成 29 年度の主な活動

平成 29 年度第 1 回審議会において、平成 29 年度文化財関係事業の計画及び予算について審議、次期町指定文化財候補の選出について協議、平成 28 年度（下半期）の実施報告及び決算、郷土資料の寄贈状況について報告。

## 文化財保護法（昭和 25 年 5 月 30 日 法律第 214 号） 抜粋

（地方文化財保護審議会）

第一九〇条 都道府県及び市町村の教育委員会に、条例の定めるところにより、地方文化財保護審議会を置くことができる。

2 地方文化財保護審議会は、都道府県又は市町村の教育委員会の諮問に応じて、文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議し、並びにこれらの事項に関して当該都道府県又は市町村の教育委員会に建議する。

3 地方文化財保護審議会の組織及び運営に関し必要な事項は、条例で定める。

条例第 144 号

(文化財保護審議会の設置)

第 13 条 法 190 条 1 項の規定に基づき、八雲町文化財保護審議会（以下「審議会」という。）を置く。

(掌握事務)

第 14 条 審議会は、教育委員会の諮問の応じ、文化財の保存及び活用に関する重要事項について審議する。

2 審議会は、前項の規定する事項について教育委員会に意見を具申し、そのための必要な調査を行う。

(組織)

第 15 条 審議会は、委員 10 人以内で組織する。

2 特別な事項を審議調査する必要があるときは、審議会に臨時委員を置くことができる。

(委員の任期等)

第 16 条 委員及び臨時委員は、学識経験を有する者から教育委員会が任命する。

2 委員の任期は 2 年とし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

3 臨時委員は、当該特別事項の調査審議が終わったときは、解任されるものとする。

(会長及び副会長)

第 17 条 審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、審議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときはその職務を代理する。

(会議)

第 18 条 審議会の会議は、必要に応じて教育委員会が招集する。

2 会議は、委員及び議事に関係のある臨時委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員及び議事に関係のある臨時委員の過半数をもって決し、可否同数のときは会長が決するところによる。

# 八 雲 町 文 化 財 保 護 審 議 会 委 員

任 期

自 平成29年10月1日

至 平成31年9月30日

NO	委 員 氏 名	住 所	所 属	備 考
1	井上 光男	八雲町出雲町	学識経験者	
2	長坂 久	八雲町熊石根崎町	学識経験者	
3	幸村 恒夫	八雲町元町	学識経験者	
4	庄内 慎一	八雲町黒岩	学識経験者	
5	高橋 憲雄	八雲町熊石根崎町	学識経験者	
6	三浦 孝一	八雲町東町	学識経験者	
7	小島 美紀	八雲町山崎	学識経験者	新 任

## 議案第 1 号

### 八雲町文化財保護審議会の会長及び副会長の選出について

審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によってこれを定める。

○会 長（1名）

○副会長（1名）



議案第2号 平成30年度文化財関係事業の計画及び予算について

1. 文化財関係事業

事業名	開催予定日時	開催場所	目的	実施予定内容	予算(千円)
1 文化財パトロール	未定	町内	国及び道指定文化財や埋蔵文化財包蔵地の状況把握。	町内に所在する指定文化財や埋蔵文化財包蔵地を、渡島教育局職員と道より委嘱を受けた文化財調査員等とともに巡視し、保存の状況、損傷の有無、標識や防災設備などのついて点検・確認する。	0
2 重要文化財公開展示	10月上旬～11月	郷土資料館小展示室	道内の貴重な文化財を守り伝えるため。	北海道教育委員会が定める「北海道文化財保護強調月間」(10月8日～11月7日)に合わせて、国指定重要文化財の「コタン温泉遺跡出土品」を公開・展示する。	0

2 郷土資料館関係事業

事業名	開催予定日時	開催場所	目的	実施予定内容	予算(千円)
1 縄文文化体験学習	8月上旬	公民館	体験学習をとおして、縄文時代の技術や精神文化を学ぶ。	小学生を対象とした、勾玉作りなどの体験学習を実施する。	11
	1月上旬	公民館			
2 史料よりみる歴史講座	8月(熊石地域)	くまいし館	歴史史料の解説をとおして、八雲の歴史を学ぶ。	熊石地域に関する歴史史料をもとに、熊石の歴史を学ぶ。	14
	10月(2回)(八雲地域)	公民館		平成30年度は、北海道立文書館の「古文書教室」の共催事業として、八雲地域に関する歴史史料をもとに実施を予定している。	
3 化石採集体験学習	6月	上八雲地区	化石が出る地層の観察と化石の採集をとおして化石についての理解を深める。	小学生を対象とした、地層の観察と化石採集、標本作りなどを体験する。	10
4 少年文化財教室	通年	町内	体験学習をとおして、八雲の自然や歴史を学ぶ。	小学生を対象とした、色々な体験学習を実施する。	14
5 サテライト展示	通年	丘の駅図書館	郷土資料館以外で、郷土資料館収蔵資料を展示し、八雲町の歴史や文化について紹介する。	八雲町立図書館と八雲町情報交流物産館「丘の駅」で、郷土資料館所蔵の木彫り熊資料の展示を行っている。	0
6 木彫り熊資料館企画展	4月下旬～8月下旬	木彫り熊資料館展示室	木彫り熊資料の展示をとおして、八雲に木彫り熊の歴史や文化について紹介する。	新たに寄贈・寄託を受けた木彫り熊資料の展示。	
7 企画展 収蔵美術展	2月上旬～3月下旬	木彫り熊資料館小展示室	美術品を一般公開し、芸術文化の鑑賞機会の充実を図る。	郷土資料館に寄贈された美術品の展示。	92
8 企画展 「ひな人形」展	2月上旬～3月上旬	梅村庭園(梅雲亭)	ひな人形やひな道具の展示をとおして、ひな祭りの歴史や伝統について紹介する。	やくもレディースネットと共催で、郷土資料館が所蔵している明治期から昭和期にかけてのひな人形と、やくもレディースネットが所蔵している各地のひな人形の展示を行う。	

3. 主要事業

事業名	実施時期	実施場所	目的	事業概要と事業経費	予算(千円)
1 尾張徳川家所有木彫り熊とアイヌ民具の寄託・整理及び展示事業	通年	木彫り熊資料館・郷土資料館	木彫り熊資料とアイヌ民具の寄託を受けて、木彫り熊資料館及び郷土資料館の展示内容の充実を図る。	八雲産業株式会社東京本社及び八雲事業所が管理する、八雲の木彫り熊やユーラップアイヌ資料52点の寄託を受けるために、美術品専門の輸送業者による資料の輸送、寄託品を紹介する特別展の開催、既に寄託を受けている「徳川義親侯民芸品及び郷土資料」を含めた約500点の資料の整理と台帳作成。 ・共済費1千円、賃金124千円、旅費60千円、需用費62千円、役務費1,098千円。	1,345

4. 協力事業

事業名	実施時期	実施場所	目的	事業概要と事業経費	予算(千円)
1 「北海道歴史講座」第8弾	6月17日(日)	シルバープラザ・その他	北海道ろうあ運動の記録を整理し、後世に継承する。	北海道歴史講座実行委員会が主催する、北海道歴史講座が八雲町で開催される。「私立八雲聖徳学院」が作られて90年を記念して、記念碑の建立とフィールドワーク、幸村恒夫氏と中根伸一氏(札幌歴史研究会会長)による記念講演会を開催する。	—

## 議案第 3 号 町指定文化財候補について

### 1. 平成 27 年の第 2 回審議会で町指定文化財候補となった文化財。

丸木舟（郷土資料館所蔵）

八木勘市宅（三杉町地区）

鉾山墓地（鉛川地区）

八雲創業余談（八雲産業株式会社管理）

ヨーク（八雲産業株式会社管理・郷土資料館寄託資料）

木彫り這熊（八雲産業株式会社管理・郷土資料館寄託資料）

茶器・煙草火入れ（八雲産業株式会社管理・郷土資料館寄託資料）

薄荷蒸留釜（八雲産業株式会社管理・郷土資料館寄託資料）

メタセコイヤ（八雲産業株式会社八雲事業地敷地内）

板倉（八雲産業株式会社八雲事業地敷地内）

### 2. 平成 29 年度第 1 回審議会で出された意見

- (1) 丸木舟①は、鉛川の開拓者が使用したもの、②はユーラップアイヌのものと考えられる、③は樹種が松とあるがカツラの可能性もある。表面にペンキが塗られており木質部に染み込んだ状態にある。
- (2) 墓地に関しては草刈りをして調査する必要がある。泊川から八雲にぬける道路があり、以前熊石町文化財調査委員会で調査した経緯がある。松浦武四郎の「廻浦日記」等に遊楽部への道があったとの記述ある。

- (3) 八雲産業株式会社敷地内の板倉に、当時の薄荷の結晶がまだ残っている可能性があるので調査したほうがよい。
- (4) 板倉の記述が、開拓当時に建てられた板倉と、八雲産業株式会社敷地内の板倉（開拓倉庫）が同じもののような記述になっているので、書き直したほうがよい。
- (5) 黒岩地区の中津原商店に、馬追業を営んでいた松本さんの資料がある可能性があるので、確認したほうがよい。
- (6) 熊石歴史記念館を建設する際に、いろいろな資料を収集したことから一度調査してはどうか。

### 3. 出された意見に対しての対応

- (1) 鉾山墓地に関しては、別紙「八雲鉾山及び金山道関連資料」として、参考文献と過去の調査についての資料をまとめた。
- (2) 八雲産業の板倉に残っている可能性のある薄荷の結晶に関しては、確認したところ、現在残っていないとのことであった。
- (3) 黒岩地区の資料に関しては、中津原商店に確認したところ、古い資料は一切残っていないとのことであった。
- (4) 熊石歴史記念館の収蔵資料に関しては、熊石教育事務所の収蔵資料リストからは、特に貴重な資料は確認されなかった。

報告第1号 平成29年度文化財関係事業(下半期)の実施報告及び決算について

1 文化財関係事業

事業名	開催日時	開催場所	目的	実施内容	決算(千円)
1 文化財パトロール	10月3日(火)	町内	国及び道指定文化財や埋蔵文化財包蔵地の状況把握。	国の重要文化財「コタン温泉遺跡出土品」、道指定文化財「赤彩注口土器」、埋蔵文化財包蔵地の大新遺跡、ハシノスベツ遺跡、トコタン1・2・3・4遺跡の保存状況等を調査し、毀損などがないことを確認した。	0
2 企画展 重要文化財「コタン温泉遺跡出土品展」	10月17日(火)～ 11月5日(日)	木彫り熊資料館	道内の貴重な文化財を守り伝えるため。	北海道教育委員会が定める「北海道文化財保護強調月間」に合わせて、国指定重要文化財「コタン温泉遺跡出土品」及び町内から出土した縄文時代後期の土器の一般公開。開催期間中の入館者数:398名	0

2 郷土資料館関係事業

事業名	開催日時	開催場所	目的	実施内容	決算(千円)
1 企画展 熊をモチーフした芸術家 柴崎重行の世界	4月29日(土)～ 8月27日(日)	木彫り熊資料館	普段は展示していない寄贈・寄託を受けた柴崎重行の作品を展示し、作風の変化などを知ってもらう。	柴崎重行の木彫り熊作品などを制作年代順に展示。開催期間中の入館者数:1,075名。 6月24日(日)には、展示担当者による講演会「柴崎熊について」を公民館で実施。参加者26名。	
2 企画展 新町指定文化財展	7月15日(土)～ 9月3日(日)	木彫り熊資料館	文化財を一般公開し、文化財保護思想の普及と啓発に努めるため。	平成28年度に新たに町指定文化財となった、門昌庵が所蔵する子安親善菩薩像・熊石村村会所諸用留、郷土資料館が所蔵する八雲村概況図・土偶の一般公開。開催期間中の入館者:1,086名。 11月3日(金)～5日(日)の熊石文化祭で、「新町指定文化財」の展示を実施する。文化祭参加人数:約250名。	
3 特別展 ユーラップアイヌ椎久コレクション展	9月9日(土)～ 11月19日(日)	木彫り熊資料館	市立函館博物館が所蔵している椎久コレクションを借用して展示し、八雲のアイヌ文化についての理解を深める。	市立函館博物館所蔵椎久コレクション40点、椎久家所有のペーパーナイフ1点の展示。 開催期間中の入館者数:1,374名。 特別展の関連事業として、10月1日(日)に道南ブロック博物館施設等連絡協議会主催の郷土学講座「ユーラップのアイヌ文化」で、大矢京右(函館市教委)と大谷茂之(郷土資料館)による講演会。 参加者:43名。	—
4 企画展 収蔵美術展【予定】	2月20日(火)～ 3月18日(日)	木彫り熊資料館	美術品を一般公開し、芸術文化の鑑賞機会の充実を図る。	郷土資料館が所蔵する西村計雄、伊藤佛三、碓井正人、新井康須雄、藤岡心象、服部譲司、折橋真理子などの油絵画の展示。	
5 企画展 ひな人形展【予定】	2月12日(月)～ 3月3日(土)	梅村庭園(梅雲亭)	ひな祭りの歴史や伝統について学ぶ。	郷土資料館が所蔵する明治期から昭和期のひな人形とやくもレディースネットが所蔵する国内のひな人形の展示。※やくもレディースネットとの共催事業。	
6 縄文文化体験学習(勾玉作り体験)	1月13日(土) 9:30～11:30	公民館	体験学習を通して、縄文時代の文化や技術を学ぶ。	小学生を対象として、勾玉作りの体験。参加者:小学生24名、保護者11名。	—
7 少年文化財教室(アイヌ文様の切り絵体験)【予定】	2月17日(土) 10:00～12:00	公民館	体験学習を通して、アイヌ文化について学ぶ。	小学生を対象として、アイヌ文様の切り絵を体験し、壁飾りやしおり作り。	—
8 史料よりみる歴史講座	9月24日(日) 10:00～12:00  11月20日(月)・ 21日(火) 18:30～20:30	ふれあい交流センターくまいし館  公民館	歴史史料の解説を通して、八雲の歴史への理解を深める。	「江戸末期の熊石番所」～その役目と村のようす～というテーマで、門昌庵文書や佐野家文書などの史料を使って、江戸末期の熊石の様子や番所が担った役割などについて学ぶ。参加人数:13名。  「尾張徳川家の八雲開拓」～徳川家の開拓構想と開拓使の対応をめぐって～というテーマで、八雲史料や開拓使文書などの史料を使って、徳川慶勝の開拓の動機や目的、徳川家が提出した概略見込書に対する開拓使の対応などを学ぶ。参加延べ人数:27名。	14

3 主要事業

事業名	開催日時	開催場所	目的	実施内容	決算(千円)
1 梅村庭園整備事業	通年	梅村庭園	町指定文化財梅村庭園の補修。	庭園を囲む板柵と3箇所の門扉・門柱に塗られた塗装が剥がれた状態にあったため、旧塗膜ケレン(下地処理)を施した後に、防腐剤の塗布。 庭園内の築山の土が流出した箇所の客土と敷均及び排水部の石積みなど、特に劣化が激しい箇所の補修。	1,626

報告第2号 平成29年度埋蔵文化財保護業務について

NO	事業名	事業者	事業内容	対象遺跡	実施内容	調査期間	調査結果
1	熱田地区給水管布設替工事	八雲町役場環境水道課	給水管布設替工事(開削工)	トコタン2遺跡 (B-16-23)	工事立会	H29.10.24~11.9	遺構・遺物等は検出されなかった。
2	三杉1号線道路改良工事	八雲町役場建設課	道路改良工事(1222.9㎡)	八雲3遺跡 (B-16-42)	工事立会	H29.9.5~12.11	遺構・遺物等は検出されなかった。
3	三杉町地区配水管新設工事	八雲町役場環境水道課	配水管新設工事(開削工)	八雲3遺跡 (B-16-42)	工事立会	H29.8.17~10.18	遺構・遺物等は検出されなかった。
4	北海道新幹線建設事業	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構	新幹線建設工事	—	所在調査 (工事用道路、 工事ヤード、掘削土受入地等の 表面踏査)	通年	継続中



報告第3号 木彫り熊に関する展示会および講演等について（平成29年1月から現在判明しているものまで）

展示

	日時	イベント名等	種類	内容	会場	主催	資料館の関わり
1	3月4日（土）12：00開 場、13：00-15：30講演	旅する木彫り熊 -アート・ツーリズム・ 境界-	展示・講演・ 実演	大谷講演「土産品としての木彫り熊の発祥と展開」/荒木繁（木彫家）、山崎幸 治（アイヌ・先住民研究センター准教授）、地田徹朗（スラブ・ユーラシア研究 センター准教授）、大谷による座談会/荒木による木彫り熊マスク実演/山崎コレ クションの木彫り熊など展示	北海道大学スラブ・ユーラ シア研究センター4階大会 議室	北海道大学スラブ・ユーラシア研究 センター境界研究ユニット・アイヌ 先住民研究センター	展示補佐・講演
2	4月末から7月ごろまで	旅する木彫り熊 展示	展示	3月4日に行われたセミナーに関連した展示	北海道大学博物館	同上	パネル文校正
3	4月29日（土・祝）から 8月27日（日）	木彫り熊資料館企画展 熊をモチーフと した木彫家 柴崎重行の世界	展示	資料館収蔵の柴崎重行の木彫り熊と、父の像、柴崎木彫鑑賞会で制作したポスト カードやテレフォンカードを展示。	八雲町木彫り熊資料館	八雲町郷土資料館	全て
4	6月10日（土）から7月9 日（日）	二風谷、昭和おみやげ物語	展示	山崎コレクションの木彫り熊などの展示と、二風谷の昭和のころの写真展示	二風谷工芸館	北海道大学アイヌ・先住民研究セン ター	なし
5	8月3日（木）から8月27 日（日）	旭川近文アイヌたちの木彫り熊の世界	展示	旭川で活動している「木彫り熊を愛する会」による展示。古美術店にも出品して もらい、木彫り熊の即売会も同時開催していた。	川村カ子トアイヌ記念館	川村カ子トアイヌ記念館	なし
6	8月6日（日）から10月1 日	北海道の木彫り熊～山里稔コレクション を中心に	展示	札幌の芸術家の山里稔が集めた木彫り熊コレクションを中心とした展示。札幌国 際芸術祭トリエンナーレ「札幌と北海道の三至宝」のひとつとして展示	札幌市資料館	札幌国際芸術祭実行委員会	リーフレット配置
7	9月2日（土）から9月10 日（日）	魂を宿す一太刀の斧 -木塊- 柴崎重行 遺作展	展示	岐阜県の画廊にて柴崎熊の展示。	画廊 文錦堂	画廊 文錦堂	なし
8	9月7日から	「アイヌ」のモノとイメージ	展示	山崎コレクションの木彫り熊などの展示と、「アイヌ」のモノ（アイヌが作った わけではないが、アイヌのものとして認識されているものも含む）のイメージについ ての展示	北海道大学総合博物館2階 アイヌ先住民研究センター ブース	北海道大学アイヌ・先住民研究セン ター	なし
9	9月26日（火）から11月 26日（日）	クマの意匠展	展示	縄文時代から現在までのクマをモチーフとしたモノの展示。八雲町郷土資料館から クマ意匠を持つ土器と土偶、そして木彫り熊を貸出。	平取町沙流川歴史館	沙流川歴史館	資料貸出・講演・ 後援
10	10月14日（土）から12 月17日（日）	平成29年度アイヌ工芸品展 現れよ。森 羅の命-木彫家 藤戸竹喜の世界	展示・実演・ 講演	阿寒湖に住むアイヌの木彫家、藤戸竹喜の作品展。期間中に実演や作品紹介も開 催。	札幌芸術の森美術館	札幌芸術の森美術館・公益財団法人 アイヌ文化振興・研究推進機構	なし
11	10月20日（金）から2月 4日（日）	野生展 飼いならされない感覚と思考	展示	思想家で人類学者の中沢新一がディレクターの展示で、八雲の木彫り熊も展示。 資料館から貸し出し。	21_21 DESIGN SIGHT	21_21 DESIGN SHIGHT、公益財団 法人 三宅一生デザイン文化財団	資料貸出・リーフ レット配置・後援
12	11月8日（水）から11月 20日（月）	熊彫～義親さんと木彫りの熊～	展示	名古屋市で開催のやつかめ文化祭の一つとして、八雲とスイスの木彫り熊の展 示を開催。図録に大谷が論考を寄稿。	ON READING ギャラリー	COMPASS、ON READING、凹プレ ス	取材対応・講演・ 後援
13	1月11日（木）から3月 13日（火）	現れよ。森羅の命-木彫家 藤戸竹喜の世 界	展示・実演・ 講演	阿寒湖に住むアイヌの木彫家、藤戸竹喜の作品展の巡回展。期間中に講演など開 催予定。	国立民族学博物館	国立民族学博物館、公益財団法人ア イヌ文化振興・研究推進機構	なし

講演

	日時	イベント名等	内容	会場	主催	資料館の関わり
1	6月24日（土）14：00- 15：00	企画展関連講座 柴崎熊について	柴崎重行の生涯と作風についてパワーポイントで解説し、企画展を見ながら解説。	八雲町公民館・資料館	八雲町郷土資料館	全て
2	7月30日（日）	アイヌのお話アニメ上映会 オルシベ スウォブ	アイヌアニメ上映会にて、「アイヌの道具のお話し」として大谷が講演。アイヌのイクパスイ などから木彫り熊への流れをパワーポイントで説明。	八雲町立図書館	八雲アイヌ協会	講演
3	8月7日（月）15：10- 16：40	アイヌの木彫と世相 -木彫り熊からア ートモニュメントまで-	アイヌ文化普及啓発セミナーとして実施。齋藤玲子（国立民族学博物館学術資源研究開発セン ター准教授）による講演。	北海道立道民活動センター かでの2・7	公益財団法人アイヌ文化振興・研究 推進機構	なし
4	8月11日（金・祝）13： 30-17：00	北海道の三至宝：アートはこれを超えら れるか！	三至宝の一つとして木彫り熊のパートが1時間。大谷の講演のあと、山里と上遠野敏（札幌市立 大学教授）とのトーク。	札幌市資料館	札幌国際芸術祭実行委員会	講演
5	10月19日（木）	木彫りになった熊～尾張徳川家と八雲の 意外なつながり～	渡島・檜山管内市町村教育委員会教育長研修会にて大谷が講演。	教育長会	教育長会	講演
6	10月25日（水）19：00- 20：30	北海道土産品としての木彫り熊～その発 祥と展開～	クマの意匠展関連講座として、平取町沙流川歴史館にてパワーポイントを用いて大谷が講演。	平取町沙流川歴史館	沙流川歴史館	講演
7	11月4日（土）15：00- 17：00	近現代史研究会定例会発表 「徳川さ ん」として慕われるマチ	名古屋で開催されている近現代史研究会にて、八雲と尾張徳川家の関係をパワーポイントで紹 介。	名古屋大学図書館ラーニン グ室	近現代史研究会	講演（個人対応）





報告第3号 木彫り熊に関する展示会および講演等について（平成29年1月から現在判明しているものまで）

展示

	日時	イベント名等	種類	内容	会場	主催	資料館の関わり
1	3月4日（土）12：00開 場、13：00-15：30講演	旅する木彫り熊 -アート・ツーリズム・ 境界-	展示・講演・ 実演	大谷講演「土産品としての木彫り熊の発祥と展開」/荒木繁（木彫家）、山崎幸 治（アイヌ・先住民研究センター准教授）、地田徹朗（スラブ・ユーラシア研究 センター准教授）、大谷による座談会/荒木による木彫り熊マスク実演/山崎コレ クションの木彫り熊など展示	北海道大学スラブ・ユーラ シア研究センター4階大会 議室	北海道大学スラブ・ユーラシア研究 センター境界研究ユニット・アイヌ 先住民研究センター	展示補佐・講演
2	4月末から7月ごろまで	旅する木彫り熊 展示	展示	3月4日に行われたセミナーに関連した展示	北海道大学博物館	同上	パネル文校正
3	4月29日（土・祝）から 8月27日（日）	木彫り熊資料館企画展 熊をモチーフと した木彫家 柴崎重行の世界	展示	資料館収蔵の柴崎重行の木彫り熊と、父の像、柴崎木彫鑑賞会で制作したポスト カードやテレホンカードを展示。	八雲町木彫り熊資料館	八雲町郷土資料館	全て
4	6月10日（土）から7月9 日（日）	二風谷、昭和おみやげ物語	展示	山崎コレクションの木彫り熊などの展示と、二風谷の昭和のころの写真展示	二風谷工芸館	北海道大学アイヌ・先住民研究セン ター	なし
5	8月3日（木）から8月27 日（日）	旭川近文アイヌたちの木彫り熊の世界	展示	旭川で活動している「木彫り熊を愛する会」による展示。古美術店にも出品して もらい、木彫り熊の即売会も同時開催していた。	川村カ子トアイヌ記念館	川村カ子トアイヌ記念館	なし
6	8月6日（日）から10月1 日	北海道の木彫り熊～山里稔コレクション を中心に	展示	札幌の芸術家の山里稔が集めた木彫り熊コレクションを中心とした展示。札幌国 際芸術祭トリエンナーレ「札幌と北海道の三至宝」のひとつとして展示	札幌市資料館	札幌国際芸術祭実行委員会	リーフレット配置
7	9月2日（土）から9月10 日（日）	魂を宿す一太刀の斧 -木塊- 柴崎重行 遺作展	展示	岐阜県の画廊にて柴崎熊の展示。	画廊 文錦堂	画廊 文錦堂	なし
8	9月7日から	「アイヌ」のモノとイメージ	展示	山崎コレクションの木彫り熊などの展示と、「アイヌ」のモノ（アイヌが作った わけではないが、アイヌのものとして認識されているものも含む）のイメージについ ての展示	北海道大学総合博物館2階 アイヌ先住民研究センター ブース	北海道大学アイヌ・先住民研究セン ター	なし
9	9月26日（火）から11月 26日（日）	クマの意匠展	展示	縄文時代から現在までのクマをモチーフとしたモノの展示。八雲町郷土資料館から クマ意匠を持つ土器と土偶、そして木彫り熊を貸出。	平取町沙流川歴史館	沙流川歴史館	資料貸出・講演・ 後援
10	10月14日（土）から12 月17日（日）	平成29年度アイヌ工芸品展 現れよ。森 羅の命-木彫家 藤戸竹喜の世界	展示・実演・ 講演	阿寒湖に住むアイヌの木彫家、藤戸竹喜の作品展。期間中に実演や作品紹介も開 催。	札幌芸術の森美術館	札幌芸術の森美術館・公益財団法人 アイヌ文化振興・研究推進機構	なし
11	10月20日（金）から2月 4日（日）	野生展 飼いならされない感覚と思考	展示	思想家で人類学者の中沢新一がディレクターの展示で、八雲の木彫り熊も展示。 資料館から貸し出し。	21_21 DESIGN SIGHT	21_21 DESIGN SHIGHT、公益財団 法人 三宅一生活デザイン文化財団	資料貸出・リーフ レット配置・後援
12	11月8日（水）から11月 20日（月）	熊彫～義親さんと木彫りの熊～	展示	名古屋市で開催のやっとかめ文化祭の一つとして、八雲とスイスの木彫り熊の展 示を開催。図録に大谷が論考を寄稿。	ON READING ギャラリー	COMPASS、ON READING、凹プレ ス	取材対応・講演・ 後援
13	1月11日（木）から3月 13日（火）	現れよ。森羅の命-木彫家 藤戸竹喜の世 界	展示・実演・ 講演	阿寒湖に住むアイヌの木彫家、藤戸竹喜の作品展の巡回展。期間中に講演など開 催予定。	国立民族学博物館	国立民族学博物館、公益財団法人ア イヌ文化振興・研究推進機構	なし

講演

	日時	イベント名等	内容	会場	主催	資料館の関わり
1	6月24日（土）14：00- 15：00	企画展関連講座 柴崎熊について	柴崎重行の生涯と作風についてパワーポイントで解説し、企画展を見ながら解説。	八雲町公民館・資料館	八雲町郷土資料館	全て
2	7月30日（日）	アイヌのお話アニメ上映会 オルシベ スウォップ	アイヌアニメ上映会にて、「アイヌの道具のお話し」として大谷が講演。アイヌのイクバスイ などから木彫り熊への流れをパワーポイントで説明。	八雲町立図書館	八雲アイヌ協会	講演
3	8月7日（月）15：10- 16：40	アイヌの木彫と世相 -木彫り熊からア ートモニュメントまで-	アイヌ文化普及啓発セミナーとして実施。齋藤玲子（国立民族学博物館学術資源研究開発セン ター准教授）による講演。	北海道立道民活動センター かでの2・7	公益財団法人アイヌ文化振興・研究 推進機構	なし
4	8月11日（金・祝）13： 30-17：00	北海道の三至宝：アートはこれを超えら れるか！	三至宝の一つとして木彫り熊のパートが1時間。大谷の講演のあと、山里と上遠野敏（札幌市立 大学教授）とのトーク。	札幌市資料館	札幌国際芸術祭実行委員会	講演
5	10月19日（木）	木彫りになった熊～尾張徳川家と八雲の 意外なつながり～	渡島・檜山管内市町村教育委員会教育長研修会にて大谷が講演。	教育長会	教育長会	講演
6	10月25日（水）19：00- 20：30	北海道土産品としての木彫り熊～その発 祥と展開～	クマの意匠展関連講座として、平取町沙流川歴史館にてパワーポイントを用いて大谷が講演。	平取町沙流川歴史館	沙流川歴史館	講演
7	11月4日（土）15：00- 17：00	近現代史研究会定例会発表 「徳川さ ん」として慕われるマチ	名古屋で開催されている近現代史研究会にて、八雲と尾張徳川家の関係をパワーポイントで紹介。 介。	名古屋大学図書館ラーニン グ室	近現代史研究会	講演（個人対応）





報告第4号 郷土資料の寄贈・寄託状況について(平成29年6月23日～平成30年1月17日)

No	寄贈者	住所	年月日	点数	産地・資料名・年代・作者等		備考
1	男性	八雲町	平成29年6月23日	1		五十年史 太平洋汽船株式会社	本
2	男性	八雲町	平成29年7月27日	1	旭川	木登り親子熊	
3	男性	八雲町	平成29年7月31日	1	不明	木彫り熊	
4	学校	八雲町	平成29年8月9日	100		落部小にあった戦前・戦後の教科書などの図書	
5	男性	苫小牧	平成29年8月15日	1	不明	木彫り熊	
6	男性	八雲町	平成29年9月12日	3		『余市漁業発達史』『北海道回想録』『北海道行幸啓誌』	
7	男性	八雲町	平成29年9月13日	1		戦前の新聞スクラップ帳	
8	男性	八雲町	平成29年10月18日	1	不明	木彫り熊	
9	男性	八雲町	平成29年11月10日	4	八雲	木彫り熊	
10	男性	八雲町	平成29年11月15日	1	八雲	加藤貞夫作木彫り熊	
11	男性	八雲町	平成29年12月12日	一括		祖父に関する文献資料一括	
12	男性	八雲町	平成29年12月12日	10 セット		慶応3年の角盆	
13	男性	大阪府	平成29年1月5日	1	不明	木彫り熊	
14	女性	札幌市	平成29年1月16日	1	不明	木彫り熊	

合計14件(八雲町内から11件、道内から2件、道外から1件)の方から寄贈があった。  
 合計126点と一括1点(内、木彫り熊と関連資料8点)の資料の寄贈があった。